



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

“世界へのプレゼントになろう”

RI会長 K.R.ラビンドラン

2570地区ガバナー 高柳 育行
第3グループ
ガバナー補佐 吉田 譲二

「ロータリーの心を実践しよう」

第2675例会 2015. 11. 25

—— ロータリー財団月間 ——

天候 曇 (NO. 52-22)

会長 間邊元幸 幹事 土屋 崇

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 坂本君、土屋(良)君

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 間邊会長
- ・ソング 手に手つないで
- ・米山記念奨学生・卓話
ホアン・フォン・チーさん

【会長報告】

11月も末となり気温も下がり、いよいよ冬らしくなりました。体調に気をつけて下さい。明るい報告をします。長く休会中だった大野泰規会員が本日より出席です。本当に良かったです。米山記念奨学生チーさんに奨学金をお渡しします(拍手)。

【幹事報告】

11/13 会長幹事会にて交通安全啓発のぼり旗事業の協賛のお願いがありました。春の交通安全週間に全員の事業所にのぼり旗を掲げRCの奉仕活動を地域に広げます。社会奉仕委員会にお願いします。例会後、パスト会長会。また、本日6時半より清河園にて反省会。役員・理事・委員長の出席をお願いします。12月のロータリーレート1ドル=120円

◎例会変更のお知らせ

◇人間南RC

- ・12/15(火) クリスマス家族会 点鐘18:30
- ・12/22(火) 例会取止 (定款6-1-C)
- ・1/5(火) 例会取止 (定款6-1-C)
- ・1/12(火) 新年会 点鐘18:30
- ・1/26(火) 夜間例会 東光寺 点鐘18:30

◇狭山中央RC

- ・12/8(火) 例会臨時変更 家族同伴親睦旅行へ
例会振替 12/2・3 秩父夜祭他
- ・12/22(火) 例会臨時変更 家族同伴年末家族会
喜代川 点鐘18:30
- ・12/29(火) 例会取止 (定款6-1-C)

- ・1/5(火) 例会取止 (定款6-1-C)
- ・1/19(火) 例会臨時変更 市内2RC新春合同例会へ例会振替
1/18(月) アズグレイス 点鐘18:00
- ・1/26(火) 例会臨時変更 企業訪問(石坂産業)

【委員会報告】

◎親睦活動委員会 神田(敬)君
「飯能RCクリスマス家族会」が12/16(水)18時~ホテル・ヘリテージ飯能sta.におきまして開催されます。案内状を配付しました。会費は会員12,000円、ご家族(成人)10,000円、お子様5,000円。楽しい企画を考えておりますので皆様の参加をお願いします。

【出席報告】

伊澤出席委員

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
57名	6名	50名	87.72%	91.73%

【M U】

11/17(入間南) 沢辺君

11/24(日高) 沢辺君

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・いろいろご迷惑をおかけしました。本日より出席させて頂きます。よろしく願い致します。 大野泰規君
- ・チーさん、卓話頑張ってください。 米山カウンセラー 土屋(良)君
- ・結婚祝い有難うございました。 沢辺君
- ・妻の誕生祝い有難うございました。大附君
- ・大野やっちゃん、元気そうで何よりです。 矢島(高)君
- ・遅刻 山川君

・早退 杉田君、矢島(高)君
本日計 15,000円、累計額 474,022円。
◎ 2日例会当番は田辺、高橋会員です。

【卓 話】

講師紹介 土屋(良)米山記念奨学委員長

卒論と大学での勉強

米山記念奨学生 ホアン・フォン・チーさん

大学での4年間の勉強について

2012年に東京国際大学の国際関係学部国際関係学科に入学。他の大学と違って1年生から国際人権法専攻のゼミに入りました。そのほかはほとんど日本語や国際関係入門等の必修科目です。自分の日本語能力はまだ低いので難しい科目はあまりとらなく日本語の授業に集中しました。2年生になり英語も勉強したいと思い、アメリカ人の先生の国際文化専攻のゼミに入りました。先生は日本語が話せないため授業は100%英語。私の日本語もちょっとよくなったので、国際NGO論、国際経済学、アメリカ政治論等を受けました。3・4年生はゼミが一緒に国際英語コミュニケーション研究に入りました。このゼミは50%が英語。授業の目的は実践的な英語コミュニケーション力の養成を図ること。知識だけではなく実践の資料の分析力や運用力も養う。内容はプレゼンテーションスキルを学び、自分なりに運用してプレゼン能力を上げるために何回も練習すること。

皆さんはプレゼン準備をどのように行っていますか。資料作成に何時間もかけ、話す練習を一度もしないのでは、聞き手に響くプレゼンを行うことは難しいです。内容と構成は大切ですがプレゼンの成功には発表の仕方も大切です。声の大きさ、スピード、強調やアイコンタクト、姿勢、ボディランゲージ、表情。立ち位置も決めておくべきです。動いた後は必ず決めた立ち位置に戻る。特にプロジェクターで投影した画面の右側に立つか左側に立つかは統一した方が良いでしょう。3年生の時の発表をお見せします。

卒論について [映像併用]

はじめに:「平成26年度外国人留学生在籍状況結果」(独立行政法人日本学生支援機構2015)によるとH26年の在日留学生数は184,155人。その中で上位5位はすべてアジア諸国。中国から94,399人、韓国15,777人、ベトナム26,439人、台湾6,231人、ネパール10,448人。「平成26年における留学生の日本企業への就職状況について」(法務省2015)によるとH26年に留学生在が企業等への就職を目的として在留資格変更許可申請を行った件数14,170人うち許可数12,958人。前年申請数12,793人に比して1,377人(10.8%)、前年許可数11,647人に比して1,311人(11.3%)増加。アジアからの留学生割合が大きく、中国の留学生8,347人、韓国1,234人、ベトナム611人、台湾514人、ネパール278人。就職先としては非製造業10,239人(79.0%)、製造業2,719人(21.0%)で、非製造業は前年比1,226人増、製造業は前年比85人増となっている。

動機づけという視点から留学生の就職活動



について調べてみると、考察している論文は少ない。量的調査(例:ディスコ2013)では、留学生がどのような理由で日本の就職を決めたかに関してその要因が示されています。例として「自分のスキルアップやキャリア形成のため(65.1%)」「経済的に自立したい(63.1%)」「安定した収入を確保したい(58.6%)」等が挙げられた。本研究の目的は日本で就職した、もしくは今後就職する留学生にとって日本への留学はどのような意義があり、就職をどのように決意したのかを明らかにすることです。また、本論文においては日本へ留学生してくる割合の高いアジア系留学生に焦点を当て、研究を行いました。

方法: インタビューは半構造化インタビューを用い、なるべく調査対象者の希望に沿った場所で行った。「半構造化インタビュー」とは質問項目を緩やかに設定しておき、語り手の回想や語りのペースに応じてその場で柔軟に対応する方法(猿橋2011)。この方法により、語りから連想される質問に自然に移行することで語り手はリラックスし、豊かな語りを引き出すことができる(猿橋2011)。全ての面接は1名または2名の調査者によって行われた。

調査対象者: 本研究では、日本で就職活動中もしくは就職活動を終えた留学生を対象に面接を行った。調査は13人のアジア諸国出身の留学生に実施。調査対象者のプロフィールについては表1(省略)に記します。

結果: インタビューを行った結果、アジア系留学生が留学生活の中でどのような変化を認識し、また、彼らが就職することに対してどのような気持ちを抱いているのかということが明らかになった。分析の結果、以下に項目に分け、留学生活に関する事柄と就職に関する事柄を見ていく。

本研究の限界および今後の研究の方向性について: 本研究の限界としては4点考えられる。第1に、今回の研究対象はアジア系留学生13人という少人数であり、また「アジア系留学生」と一言で言ってもその属性のバリエーションを全て網羅できているわけでない。また、留学生は国籍によって直面する言語の問題、奨学金、日本での雇用機会等が異なるが、今回はそれが調査されていない。第2に、調査対象者の13人中10名が女性であるのに対し男性は3名しかいないので、男女別の考え方の違いがまだ反映されていない。第3に、働くことに対するイメージは、まだ在学中の留学生との間で異なることである。人生のさまざまな段階において、働くことはその人にとって異なる重要性を示すため、元留学生のキャリアパスや仕事での成長を追って分析することも重要だと考えられる。第4に、留学生が希望する、あるいは就職中の企業の環境は業界、会社の規模等によって異なるが、この部分がまだ分析されていない。

今後の研究では性別や国籍、年代等の観点から対象者の幅を広げて研究を行う必要がある。